

- 三坂耿一郎(日本彫塑会会員)、菅野忠良(日本彫塑会会員)
- (4) 参加者 43名
- (5) 内容
- ① 実技と講義
- ア、頭像製作上の注意点について
- イ、モデルの見方について
- ウ、石こう取りについて
- ② 討議
- ア、これからの彫塑活動について

以上であるが、県下各地からの参加者を得て、実のある研修会であった。今後は高校生、勤労青少年の参加奨励につとめる必要がある。

13. 音楽（合唱）指揮者講習会

本県の音楽水準を高めるとともに指導者の養成をはかる目的をもって、県合唱連盟と共催で実施した。

- (1) 期日 昭和46年7月24日～25日
- (2) 会場 福島県婦人会館
- (3) 講師 池田明良（指揮者） 高野広治（指揮者）
- (4) 参加者 68名
- (5) 内容
- ① 実技と講義
- ア、古典派作品の研究と実習
- イ、邦人作品の研究と実習
- ② 全体会
- ア、ディスカッション

以上であるが、参加者はいづれも熱心であり、今後は回数が増と、社会教育関係者および一般の参加が望まれる。

14. 青少年芸術劇場

文化庁が毎年実施しているもので「青少年に対し、すぐれた音楽・演劇等を鑑賞する機会を提供することにより、青少年の芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の醸成に資し、もって国民の芸術への理解を高め、わが国芸術文化の振興を図る」ものである。46年度はいわき市において開催、地元教委の多大のご支援もあり、青少年にとって極めて有効な催しであった。

- (1) 期日 昭和46年8月14日
- (2) 会場 いわき市平市民会館
- (3) 部門 オーケストラ
- (4) 演奏者 読売日本交響楽団
- (5) 解説者 山田一雄
- (6) 演奏曲目

- 歌演「ルスランとリュドミラ」序曲
- フルートとハープのための協奏曲ハ長調 K299
- 交響曲第9番ホ短調作品95「新世界」より

15. その他

県芸術祭に関し、県教育長の諮問にこたえるため、芸術祭運営協議会を構成し、年3回開催した。

- (1) 芸術祭運営協議会
- 白河市文化団体連絡協議会 熊田 猛 男
- いわき市文化団体連絡協議会 石河 清

- 原町市文化団体連絡協議会 門 馬 直 孝
- 郡山市文化団体連絡協議会 岩 島 誠 吉
- 会津若松市文化団体連絡協議会 松 川 善 吉
- 福島市文化団体連絡協議会 平 井 博
- F M C 合唱団 高 野 広 治
- いわき美術協会 菱 沼 儀
- 県三曲連盟 蕃 建 柳 子
- 福島華道連盟 小武山 華 枝
- 福島市教育長 辺 見 正 治
- 二本松市教育長 三 瓶 芳 徳
- 国見町公民館長 佐 藤 善 次 郎
- 保原町教育長 滝 沢 由 雄
- 川俣町文化団体連絡協議会会長 木 村 章
- 福島民報社 河 田 享
- 福島民友新聞社 門 馬 純
- 福島テレビ 渡 辺 達 雄
- 福島中央テレビ 今 泉 正 顕
- N H K 福島放送局 小 山 康 雄
- 財団法人福島県文化センター 丹 野 清 栄

- (2) 選抜秀作美術展選考委員会
- 平井博（学識） 高橋良一郎（学識） 渡辺到源（学識）
- 常盤大空（日本画） 齋藤正夫（洋画） 山川忠義（洋画）
- 若松光一郎（洋画） 照井久良人（工芸） 藤本竹亭（書）
- (3) 県文化センター事業一覧

区分	事業名	実施月日	実施場所入場者数	
音楽	ブルガリア合唱団公演	4月28日	大ホール	1,450人
	日本フィルハーモニー交響楽団	9月4日	〃	903人
演劇	夕 鶴	11月9日	〃	996人
美術	近世洋風画展	8月8日～22日	展示室	547人
	院展福島展	10月10日～24日	〃	4,941人
	美術博物館展示	4月・6月 7月・12月	〃	786人
文化	文化講座	6月～8月	会議室(兼)展示室	594人
	文化講演	10月31日	小ホール	100人
史料展	絵馬展	5月10日～30日	史料館	1,200人
	福島の先覚者展	9月1日～33日	展示室	1,189人
	民俗資料展	11月16日～12月15日	史料館	1,600人
	古文書講座	7月27日～28日	田島町	55人
科学	地球展	5月16日～30日	展示室	19,709人
	計			34,070人

第7節 文化財の保護

1. 概況

文化財の保護は、貴重な文化的遺産を将来に保存するとと